



「こども研究所」開設のご案内

ーイベントのお知らせー

開催概要：

遺伝子病制御研究所（村上正晃所長，廣瀬哲郎副所長）の大きな柱となっている“免疫学”を中心とした生命科学の学問に触れることを通して，子供たちの科学への好奇心を活性化し，子供たちの可能性，夢，そして世界を広げることに つないでいくことを目的として，全国的にも生命科学分野においてはおそらく初めての「こども研究所」という，小学生（3～6年生）対象の期間限定の研究教育学習プログラムを立ち上げることになりました。実際に研究所で2日間，大学教授から講義を受け，その後，各研究室で実験をしたり，論文を読んだり，海外留学生と交流したりというような研究室体験をして，最終的に「こども研究所」の研究者としての認定書が発行されます。さらに，認定されたこども研究者は，中学生になったら，「こども研究所」にアシスタントとして参加できるという長期的な取組を考えています。

開催趣旨：

日本の子供たちは，科学に対する理解力は世界の中で比較的高いレベルですが（経済協力開発機構（OECD）生徒の学習到達度調査（PISA2015）参考），科学に関する本を読むことや知識を得ることに興味があると答えた子供たちは，全体平均より大幅に低く，科学の楽しさを紹介することや学ぶ意欲を高めることは重要な課題であると考えられます。このような観点からも，考え方が柔軟であり，色々なことを吸収する能力が旺盛な子供の頃から科学とふれあう機会を持つことの意義はとても大切であると認識されます。そこで，冬休み中に小学生の3～6年生を対象にして，遺伝子病制御研究所で大学教授による生命科学に関する講義を行います。ここでは「なぜ」という課題を掲げて，子供たちと一緒に考えながら分かり易く講義をします。さらに，英語の論文を見る機会や海外から来ている研究者との交流，顕微鏡を使って細胞を見る実験など，実際の研究に触れる貴重な機会を提供します。本コースをすべて修了した参加者には，こども研究所の所員としての認定書を発行し，中学生になったら遺伝子病制御研究所での研究活動への参加を優先的に獲得でき，こども研究所の活動時には，アシスタントとして参加してもらう機会を検討しています。

「こども研究所」は，札幌市教育委員会をはじめ，4,500名余りの日本最大の免疫学者の集まりである日本免疫学会のご支援，また，日本インターフェロン・サイトカイン学会や，北海道を基盤に生命科学をテーマとして社会貢献活動に取り組んでいる秋山記念生命科学振興財団のご支援で推進されます。

日程：2017年1月16日（月）・17日（火） いずれも午前9時15分～

場所：北海道大学遺伝子病制御研究所（札幌市北区北15条西7丁目）

主催：北海道大学遺伝子病制御研究所，日本免疫学会，

共催：日本インターフェロン・サイトカイン学会，秋山記念生命科学振興財団

参加対象：小学3～6年生の児童（30名程度）

※応募多数のため，募集は締め切らせていただきました。

参加費：無料

言語：日本語

※詳細については，添付資料をご覧ください。

お問い合わせ先

北海道大学遺伝子病制御研究所分子生体防御分野

教授 高岡 晃教（たかおか あきのり）；「こども研究所」所長



"Kids Institute"
Institute for Genetic Medicine
Hokkaido University

TEL：011-706-5020 FAX：011-706-7541 E-mail：takaoka@igm.hokudai.ac.jp